

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



2年連続で出場した増田雄基ライダー（菅山区）

2年連続で夢舞台を疾走

■市内チームが鈴鹿8時間耐久ロードレースに2年連続の完走
「ゲズンハイト」（菅山区）が7月19日～21日に鈴鹿サーキット（三重県）で開催された「2024FIM世界耐久選手権 鈴鹿8時間耐久ロードレース 第45回大会」に出場しました。

序盤に転倒しましたが、出場46チーム中37位でゴール（周回数159周／規定周回数159周）し、今年も見事に完走する快挙を成し遂げました。

伊藤章人代表は、「目標の30位には届かなかったが達成できることが分かった。来年も機会があれば参加したい」と意欲を語ってくれました。

念願の全国優勝 連覇を目指す

■市内インディアカチームが全国大会で優勝し表敬訪問

「第19回全日本インディアカ大会・シニア女子60歳以上の部」で初優勝した市内のインディアカチーム「ベルジュ」の選手が7月11日、杉本市長を表敬訪問しました。

同チームは、昨年行われた「第31回インディアカ東海北陸ブロック大会・シニア女子60歳以上の部」で優勝し、全国大会の切符を握りました。

選手らは、「皆で頑張ってきた練習の成果が出た。来年も頑張り連覇を目指したい」と大会の感想や来年への抱負を述べました。



優勝トロフィーや記念品を手を持つ「ベルジュ」の選手

マリンスポーツの楽しさを味わう

■市内小学校でのマリンスポーツ体験会

市では7月、地元のサーフィン関係者やマリンスポーツ関係者の協力の下、市内3つの小学校で「マリンスポーツ体験会」を開催しました。

4日には地頭方小学校3年生を対象に「SUP体験」を開催しました。16日には坂部小学校5・6年生、19日には勝間田小学校5年生を対象に、「サーフィン体験」を行いました。初めてボードに乗る児童もあり、マリンスポーツの楽しさを満喫しました。

* SUPとは、「Stand Up Paddleboard（スタンドアップパドルボード）」の頭文字を取った略称。ボードの上に立ち、パドル（オール）をこいで水面を進む、近年人気のアクティビティ。



坂部小学校「サーフィン体験」（7月16日）



地頭方小学校「SUP体験」（7月4日）



勝間田小学校「サーフィン体験」（7月19日）

32年目の歴史ある国際交流が再開

■市国際交流協会「学生交換ホームステイ事業」

市国際交流協会はこの夏5年ぶりに、本市の姉妹都市である米国ワシントン州ケルソー市との交換ホームステイ交流を行いました。

同州からは、相良高等学校の姉妹校であるケルソー高校の生徒2人が7月25日から8月3日まで本市を訪れ、市内の家庭にホームステイ。滞在中、市長表敬訪問や静波海水浴場でのサーフィン体験、相良高校生との交流などを行いました。8月3日には、ケルソー市高校生と共に市内中学生2人がケルソー市に出発し、12日に帰国しました。



同校弓道部やグローバルチャレンジサークルの生徒との交流



神事で安全を祈念する出席者ら

牧之原市の夏到来！

■海水浴場海開き

さがらサンビーチ、静波海水浴場の海開きが7月12日に行われ、両海水浴場でシーズン中の安全を祈念する神事が行われました。

当日はあいにくの雨でしたが、静波海水浴場の式には市や観光関係者ら約50人が出席。杉本市長は「当市が一番盛り上がる夏がやってきた。無事故で安全安心に、そして多くの海水浴客でにぎわってほしい」とあいさつしました。

両海水浴場での遊泳期間は、9月1日までの予定です。

熱中症対策の「涼み処」として

■指定暑熱避難施設に係る協定書締結式

市は7月11日、「気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定」をウエルシア薬局株式会社と締結しました。

熱中症による健康被害防止を図るため、10月23日まで市内のウエルシア薬局と公共施設の計14カ所が指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として利用可能です。

同社の星晶博地域包括推進部長は「地域の健康ステーションとして熱中症対策による健康被害の軽減に努めていく」と話しました。



協定書を手にする星地域包括推進部長（左から2番目）と杉本市長ら



会員の茶生産者からお茶の入れ方を学ぶ川崎小の児童ら

お茶を入れて、飲んで、触れて

■第19回一番茶品評会・お茶教室

市認定農業者協議会の一番茶品評会が7月11日、い〜らで開催されました。

同会員の茶工場から53点の一番茶が出品。外観や水色、香気、滋味の4項目について審査されました。最優秀賞には、名波靖功さん（相良支部）のお茶が選ばれました。また、静岡牧之原茶に親しみを持ってもらおうと、市内小学生3年生を対象にお茶教室を開催。招待された市内8校の児童らは、お茶の入れ方を学んだり審査会場を見学し茶葉に触れたり、お茶について学習しました。